

人手不足に立ち向かう！

省力化事例

深刻化する人手不足に対し、自動化・効率化を進め、省力化につなげている会員企業の事例を紹介します



case

03



テーマ

RPAで業務プロセスの効率化と自動化



新規案件獲得に欠かせない入札情報 収集から登録、担当者への連絡を自動化

公共事業や大規模プロジェクトに関わる私たちの業務は、基本的に入札を通じて契約を獲得する必要があります。国や地方自治体のホームページに発表される入札情報を早期に把握することは、新規案件獲得のために非常に重要です。以前は、各営業担当者が毎日担当エリアのホームページをチェックし、収集した情報をエクセルに入力して社内でも共有するという、まさに「人海戦術」でした。しかし、RPA導入により、1日4回の入札情報の収集から営業システムへの登録、さらに必要に応じて営業担当者の携帯へのメール連絡まで自動化が可能になりました。手動による入力ミスがなくなっただけでなく、情報を右から左へと繰り返しコピーする作業によるストレスもなくなりました。現在、3人のRPA技術者を中心に、全社的にRPAによる業務効率化とIT化を進めるべき業務を洗い出し、優先度を付けてRPAの開発を進めています。

事業所 PROFILE

株式会社フジヤマ



総務部の鎌田教穂さん(中央)と小畠未佳さん(右)、DX推進部の藤田航輝さん(左)

1967年創業、従業員380人の建設総合コンサルタント。測量・調査から情報整備、コンサルティングまで一貫した総合技術力を発揮して、地域社会の継続的な発展を支える社会基盤整備に貢献している。2018年度に総務部門と社内IT管理部門を統合し、新経営システムを導入。総務部の業務効率化とIT化を推進し、経費削減と生産性向上を目指している。

- 2019年RPA技術者として鎌田さん入社
- 2019年度 静岡県働き方改革アワード「取組加速化部門」受賞！
- 総務部社員を中心に「RPA研究会」発足
- 2022年RPA技術者として藤田さん、2024年には小畠さんが入社

業務プロセス（営業事務における一例）

Before

営業担当が1日1回、各自治体のホームページをチェック
収集した情報を手動でエクセルにコピー入力
エクセルを社内でも共有

After

RPAが1日4回、各自治体のホームページをチェック
収集した情報を自動で営業システムに入力
営業担当に自動リマインド
営業システムを社内でも共有

得られた効果

- RPA導入から3年で45ロボット稼働

業務削減効果時間

25,000 時間/年

人に換算して
約13人分！

省力化に使用したソフトウェア製品

WinActor

※「WinActor」はNTTアドバンステクノロジ株式会社の登録商標です



省力化事例の取材企業を募集します

取材申込先：浜松商工会議所 情報推進課 TEL.053-452-1110